



こうじん

発行元 医療法人社団 宏仁会小川病院
〒355-0317
埼玉県比企郡小川町原川 205
電 話 0493-73-2750
FAX 0493-72-5192
発行者 理事長 北川 宏
発行日 平成 22 年 12 月 25 日
2010 年 26 号

題字 理事長 北川 宏



ロシア エカテリーナ宮殿
島崎幸子 撮影

目次

長崎先生就任挨拶	P1
第 9 回合同研修会	P2
患者様代表挨拶	P3
永年表彰者代表挨拶	P5
人事往来	P7
リハビリ室紹介・病棟 OPEN	P9
3 施設合同医療安全管理委員会から	P10

東松山宏仁クリニック院長就任挨拶

東松山宏仁クリニック院長

長崎治能



この度、9月14日より小石川東京病院から東松山宏仁クリニックへ常勤医として勤めさせて頂くこととなりました。私は埼玉医科大学を卒業後に、大学院(第二内科 循環器学)へ入学し、西村重敬教授のもとで研究について指導を受けました。大学院在籍期間の臨床についての指導医は、実は宏仁会高坂醫院の山田院長でした。そのような関係もあって、医師になった当初から宏仁会の施設で、夜間透析回診や当直をさせて頂きました。

大学院卒業後は、大学の関連病院である東松山医師会病院や済生会川口総合病院で循環器内科の診療を行なっていましたが、狭心症や急性心筋梗塞を発症した患者さんの中に、あまりにも糖尿病の方が多く、しかも血糖コントロールが悪いのにおどろきました。そのこともあって、糖尿病も含めて動脈硬化の予防が必要だと思いましたので、地元の鹿児島に戻り、糖尿病の認定教育病院での研修を始めました。首都圏と違って、地方には糖尿病専門医は少なく、そのため名前も聞いたこともない遠い離島など県内全土から(南北500km)、患者さんが一大決心で紹介受診されていました。糖尿病の三大合併症(網膜症、神経障害、腎症)が、進行している方がほとんどで、もちろん透析導入になるケースも多く、元々循環器をしていたこともあって、透析室で透析用のカテーテル留置を頻回に行なっていました。その時に感じたことですが、自覚症状のあまりない患者さんは、透析導入について説明を行なっても、なかなか納得されない方が多いことでした。御紹介で期待を持って来院され、医師としての責任もありますから、根気強い説明が必要でした。循環器疾患を診ていた時とは、まったく違う対応をしないと診療が先に進まないと思い、考え方・対応の仕方を次第に変化させていったことを思い出します。

実際に医療機関を受診し、治療を受けることは、苦痛を伴う場合もありますし、どなたにとっても勇気や決心がいることではないかと思います。そうした良くなりたいとの期待を持って来院する患者さんの気持ちに十分にお答えし、安心して医療を受けていただけるよう、十分な説明・相談・サービス体制をこれから整えていこうと考えています。それにはスタッフ皆さまの御協力がないと、達成できないと思われますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

第9回宏仁会合同研修会



平成22年10月31日（日）、国立女性教育会館にて宏仁会合同研修会が行われました。

第一部では永年表彰の授賞式、永年表彰受賞者代表の小野沢寛美様のご挨拶、患者様代表の林幸夫のお話がありました。今年の永年表彰者は、透析歴30年の方が1名、25年の方が1名、20年の方が5名、10年の方が14名の合計21名の患者様でした。第二部では埼玉医科大学腎臓内科教授の鈴木洋通先生による特別講演『すこやかな人生を送るための透析療法とのつきあい方』がありました。



患者様御本人の努力はもちろんですが、ご家族の協力や病院スタッフの頑張りもあっての永年表彰です。これからも患者様の透析ライフを精一杯支えていきましょう。研修会お疲れ様でした。

永年表彰者代表挨拶

第9回合同研修会にて

本日は、第9回宏仁会合同研修会の開催おめでとうございます。

そして、研修会において永年表彰をしていただきまして心から感謝いたします。

私は、今年の9月25日で透析導入20年になりました。

中学2年生の夏に扁桃腺を腫らして高熱が続いてそれがきっかけで急性腎炎になりそのまま慢性腎炎に移行。高校、専門学校を経て平成2年の5月に就職をしましたが半月で体調を崩し退職。通院しながら療養していましたが、7月には尿毒症になり東松山市の市民病院でダブルルーメンという管を足の付け根から入れて緊急透析。本来ならばそこで、シャントを作りそのまま血液透析をするはずでしたが、シャントの手術をする先生が夏休みで1ヶ月先までシャントの手術ができないということで、主治医に若いということもあり、CAPD（腹膜透析）を勧められました。それに、一日おきに太い針を刺さなくて良いのだとか食事制限が楽だと聞いてCAPDに決めました。そして9月のはじめに、川越の医療センターに転院しました。転院してすぐに、CAPDをするために腹膜にカテーテルを入れる手術をするはずでしたが、ずっと熱が出ていて血液検査したら敗血症だとわかりました。幸い、クスリが効いて完治し、腹膜にカテーテルを入れた平成2年9月25日に透析導入となりました。

CAPDは、9年行いました。CAPDとは、腹膜に透析液を出し入れして浸透圧を利用して透析をするのですが、私の場合は1日4回、1回に2Lの透析液を腹膜に入れていました。病院には、1ヶ月に1回診察を受けに行くだけでした。9年の間には、カテーテルが詰まり入れ替えの手術をしましたし、カテーテルと透析液をつなぐ接続部分にヒビが入っているのに気がつかず腹膜炎にもなりました。

CAPDは、患者同士が会うことが少なかったのですが、私が導入した頃は気の合う人が多く、1

ヶ月に1回の診察日に会うのが楽しみでした。そのときに仲良くなった人とは、それぞれ血液透析に変わったり、移植したりと川越の医療センターで会うこともなくなりましたが、年に2回食事会と称して会ってお互いの近況報告や情報交換をしています。

そして、平成12年の1月から宏仁会にお世話になることになりました。はじめは、宏仁クリニックに5ヶ月通院していましたが、それ以降は東松山宏仁クリニックに通院しています。

血液透析になって、CAPDでは、水分制限が殆どなかったし、食事もあり制限がなかったためか水分のコントロールがとても大変でした。10年経った今でも体重をたくさん増やしてきては、血圧を下げてたびたびスタッフに迷惑をかけています。それに、食事。特にリンに気をつけていないためか、平成18年には透析の合併症により副甲状腺摘出の手術をしましたし、去年は、両手の手根管症候群の手術と右手の薬指のバネ指を手術しました。それと、最近は、シヤントトラブルで3ヶ月に1回のペースで血管を拡げる PTA という処置をうけています。

こうして、20年を振り返ってみると色々トラブルがあり辛いと思う時もありますが、透析を通してたくさんの仲間ができて、お互いに励み励まされ日々元気に楽しく透析生活を送ることが出来ています。

この度は、宏仁会合同研修会で表彰を頂きまして、ありがとうございました。今こうして、永年表彰者の代表としてお礼の言葉をのべられるのも、先生をはじめスタッフのおかげです。これからも元気に明るく前向きに透析生活が出来るように頑張っていきたいと思いますので、どうぞご指導よろしくお願い致します。



私は宏仁会高坂醫院でお世話になっている林幸夫と申します。62歳で、透析歴は今年で15年になります。15年の間には山もあり谷もありました。私には2回の手術という大きな山がありました。1回は心臓のバイパス手術で、もう1回は副甲状腺の摘出手術でした。今日はその2回の手術と、近況についてお話をしたいと思います。

ある時散歩をしていたら心臓がドキドキして歩けなくなり、2,3分も休むと平常になりまた普通に歩けるということが何回かありました。心配になり循環器の病院にかかりました。狭心症ではないかということで検査に入り、二回ほど検査をして次は心臓の負荷検査をしようと予約した夜、寝ているときに胸が苦しくなりました。10分くらいで収まったのですが朝になって病院に電話をしたら「直ぐに来なさい」ということで、行ったらすぐに車いすに乗せられて処置室に入って「これからカテーテルで検査をしますのでその準備をします」ということでした。その結果は心臓の冠状動脈が2か所詰まっていると言う事でその日は1泊して退院しました。後日また、バルーンで広げるか、ステントという器具を入れるかと言うことでカテーテルを入れたのですが、細いガイドワイヤーは入るのですが、硬くて次のが入らず何もできませんでした。そして、バイパス手術を受けることとなりました。

バイパスは、内胸動脈から一本、胃の動脈から一本を詰まった先へつなげるというものです。手術自体は全身麻酔なので何も覚えていません。5時間位の手術で誰かが呼ぶ声で目が覚めました。2週間位で退院でき、半年後と、1年後に検査をして異常無く現在に至っています。

2回目は、右肩が突然痛くなりレントゲンを撮ったら、骨の他に血液中のカルシウムが沈着して白く映っていました。それが痛みを引き起こしているということでした。血液中のカルシウムが上がりすぎるとこれも心臓発作の原因になります。痛みは4日ほどで収まりましたが、副甲状

腺の手術が必要とのことで帝京大学病院を紹介されました。帝京大学病院は非常に込んでいて検査を2回ほど受け、予約をして手術は6ヵ月後となりました。副甲状腺は喉の甲状腺の隣に有りまして、米粒大のものが4つ有るのですが、私の場合は肥大していて小豆大になっていました。その4つを摘出して一部分を埋め戻し手術は終了し、5日ほどで退院しました。一部分を戻すのはそれが今度は働いて正常になるのを待つそうです。ですから今度は、カルシウム値が低くて気持ちが悪くなったり、手が痺れたりして2ヵ月ほどはカルシウム剤を透析の後で入れました。現在は標準値に戻っています。

60歳になって定年となりましたので夜間透析から午後の透析になりました。定年を記念して海外旅行に行きました。カナダのトロント6日間です。市内観光、ナイアガラ観光、紅葉のアルゴンキン公園です。ナイアガラでは船で滝つぼの下まで行き、カップを着ていたのですが、水しぶきと風でズボンの下と靴はだいぶ濡れました。まるで台風の中に入ったようでした。アルゴンキンではカナダの国旗にある楓「メープル」の紅葉がすばらしく、その中のトレッキングコースをニコースほど歩きました。このツアーは透析患者8名と付添4名、12名ですが、中には1人で参加した75歳のおばあさんがいて元気に歩きとうし、今度はドバイに行くと言っていました。

カナダの透析は一般の人が終わった後に始まり、体重と、体温を測り、リクライニングの大きな椅子で行います。着替えはしません。冷房が利いているので上にかけるようなものがあつたほうがいいと思います。添乗員さんとバスの運転手さんが残ってくれていろいろ通訳をしてくれたので不便は有りません。血圧計はまきっぱなしで1時間ごとにデータと一緒に自動で計ります。食事はでないので終わってからホテルで食べました。

行きの飛行機の中で夜食とワイン、それから朝食を食べたので1日4食になってしまい、ドライウェイトをだいぶオーバーしてしまい1キロほど残してしまい、次の日から少し食事をセーブして2回目ではドライウェイトに戻りました。

ハワイの透析も大体同じようですが、ツアー自体が3人の参加しかなく2人で透析です。8人乗りくらいの大きなリムジンで送り迎えでワイキキから10分くらいの病院で、一般の人と交じって午後1時から2回行いました。ここは日本人スタッフが居て不便はありません。もうすぐクリスマスという時期だったので部屋中クリスマスの飾りが飾ってありました。

海外旅行での透析も自信が付いたので、来年はオーストラリアのエアーズロックを見に行きたいと思っています。皆さん、体調管理をしっかりと海外旅行に挑戦してみませんか。

人事往来

今年の新入職者7名のみなさんです。

趣味：祭り・花火見物

好きな芸能人：高倉 健

好きな食べ物：うなぎ

一言：10月からお世話になっております根岸です。

出身は深谷市。二女の父親です。

皆で力を合わせて楽しい職場を作りましょう。

体力はあったのですが、最近は自信喪失・・・。

でも頑張ります。

趣味：読書・映画鑑賞

好きな芸能人：ウィル・スミス トミーリージョーンズ
及川 奈央

好きな食べ物：寿司

一言：まだまだ大学を出たばかりで、未熟者ですが
宜しく願います・・・

また、只今彼女募集中です。20才～25才位！

趣味：スノーボード 映画鑑賞

好きな芸能人：ブラックマヨネーズ

好きな食べ物：すき焼き アイス

一言：まだまだ新人で、わからないこともありますが、
宜しく願います。

趣味：音楽鑑賞

好きな芸能人：向井 理 吉瀬 美智子

好きな食べ物：和菓子、チョコレート

一言：一生懸命頑張ります！！

趣味：テニス

好きな芸能人：成宮 寛貴

好きな食べ物：スイカ

一言：頑張りますのでよろしくお願いします。

趣味：おいしいものを食べる

好きな芸能人：岡田 准一 綾瀬 はるか

好きな食べ物：あんまん

一言：医療事務は初めてで分からないことばかりなので、色々教えていただけると嬉しいです。早く慣れるように頑張りますので、よろしくお願いします。

趣味：ドライブ

好きな芸能人：マツコ・デラックス

好きな食べ物：オクラ、納豆

一言：医療事務は初めてなので分からない事だらけですが、皆様にご指導いただきながら頑張りたいです。

リハビリ室 紹介

平成 22 年 10 月 16 日から、高坂醫院 1 階リハビリ室が始まりました。

現在は週 2 日、2 名の理学療法士に来て頂いています。

★金曜は午後 13:30～17:30 川崎先生

★土曜は午前 9:30～13:30 渡部先生

運動療法（エルゴメーター・平行棒・ステップ）、牽引療法（頸椎・腰椎）、温熱療法（ホットパック・マイクロ波・超音波）、電気刺激療法（干渉波・低周波・TENS）、マッサージ療法など、また入院患者様のベッドサイドでも行われています。

12 月現在では 20 名位の方が定期的に受けており、約 3 割が一般外来患者様で約 7 割が高坂と東松山の透析患者様です。どうぞ活用してください。



高坂醫院病棟 OPEN

平成 22 年 10 月 3 日から、高坂醫院 3 階に小川病院より病棟移転し始まりました。

ベッド数は、特別室 1 室・個室 8 室・2 人部屋 4 室・観察室（2 床）で計 19 床です。

開設当初は患者数 1 名でしたが、現在 8～10 名が入院しており、ほとんどは 3 施設の透析患者様です。各施設・各部署と上手く連携をとり、患者様はもちろん職員にとっても安心・安全な環境で、治療・看護に取り組んでいけることを望んでいます。高坂スタッフとしてはまだ試行錯誤する部分もありますが・・・みなさま宜しくお願いします。



宏仁会 3 施設合同医療安全管理委員会から

宏仁会統括院長 山田裕一



11 月 1 日から医療安全管理につきまして新しい体制を取らせて頂きました。

- ① 各施設ごとに、『医療安全管理委員会』と『院内感染対策委員会』を設置する。
- ② 月に 1 回、各施設ごとに医療安全管理委員会と院内感染対策委員会を開催する。
- ③ 毎月 10 日までに前月の委員会議事録を山田まで提出する。(共有フォルダー内でも OK)
- ④ ヒヤリ・ハットの提出の奨励する。
- ⑤ 医療事故など重要な議案や研修会は 3 施設合同で対応する。
- ⑥ 各種マニュアルの整備を行なう。

11 月 28 日の勉強会でもお話させていただきましたが、ヒューマンエラーを防ぐには、職場環境、仕組み、システムを整えていく必要があります。しかし、医療という仕事は、スタッフ一人一人の判断や技術に寄与するところが非常に多い仕事でもあります。患者様が安心できる医療が提供できるように、職場環境を整えていくと同時に、全スタッフは 120%の注意安全に心がけてください。透析機器や投薬に関することはもちろん、車の運転、患者さんの動線、環境衛生、清掃、食事提供、言葉づかい、接遇など仕事上の全てのことが、医療安全に直結します。まずは、ヒヤリ・ハットの積極的な提出をよろしくお願いいたします。



宏仁会にとってこの 1 年間は激動の 1 年間だったと思います。宏仁会の良い伝統は尊重し、時代の流れに遅れることなく次のステージに進んで行きましょう。

編集後記

今年は記録的な猛暑だったうえに、院内では病棟移転をはじめ、行事が盛りだくさんの一年でした。皆様たいへんお疲れ様でした。また改装工事も控えていることで、落ち着けないところではありますが、新年は穏やかな気持ちで迎えたいですね。 自分で自分をいたわって、どうぞよいお年を・・・

高坂醫院 (A・H)

2010 年 26 号こうじん

広報委員会

宏仁会高坂醫院	山田 裕一	本多 明子
宏仁会小川病院	石井 浩美	
東松山宏仁クリニック	飯野 幸子	千野 武